

前橋市の公共交通の今後の方向性

前橋市民の皆様へ

資料 6-1

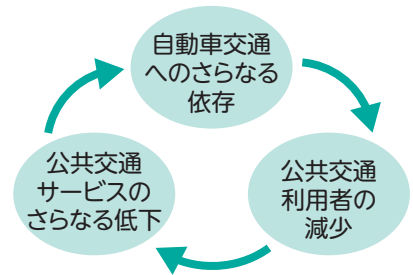
交通体系変革の必要性

前橋市の現状を踏まえた今後の方向性として、以下の交通体系変革が必要です。

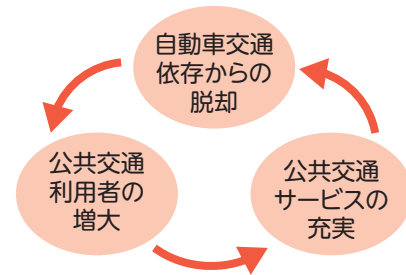
【前橋市における交通体系の現状】

- 自動車依存型社会の進展：自動車依存による通勤通学圏や経済活動圏の拡大と人口密度の低下
- 超高齢化と高齢者の自動車利用増：高齢化率が27.3% (H28) に達し、高齢者ドライバーの増加による自動車関連事故増等への懸念
- 公共交通の衰退：鉄道およびバス利用の経年的な減少による路線存続の危機

このまま対策を打たない場合に予想される状態



目指すべき方向性



【交通体系変革必要性】

過度に自動車に依存しない交通体系が必要

人々の多様な移動ニーズに対応し円滑に移動できる環境づくり
郊外部から都心地域や駅周辺拠点エリアに人を導く環境づくり

基本理念

人と環境にやさしい、持続可能なコンパクトなまちづくりと公共交通を中心とした交通ネットワークの構築

【5つの基本方針】

① 拠点間を結ぶ公共交通軸の強化・形成

- ①軸となるバス路線の明確化

② 各拠点へのアクセス性の向上

- ②公共交通の利用が不便な地域の解消
- ③駅や主要バス停の乗り換えを円滑に

③ 公共交通の利便性向上

- ④バリアフリー化
- ⑤バス待ち環境を快適に
- ⑥情報案内を分かりやすく
- ⑦サイクルトレインの推進
- ⑧交通系ICカードの導入

④ まちなかの回遊性の向上

- ⑨都心のバス路線の利便性向上
- ⑩コミュニティサイクルの導入
- ⑪歩行・自転車利用環境の改善

⑤ 都心地域への自動車利用の抑制

- ⑫パーク＆ライドの推進
- ⑬自動車による来訪、通過交通の抑制

多様な主体の連携によるみんなで支える交通まちづくりの推進

公共交通サービスの維持に向けて、市民や来訪者一人ひとりが地域にとって望ましい交通行動を考え実践し、地域交通の育成、新たな連携による展開等みんなで支える公共交通の仕組みづくりを構築します。

公共交通に関するアンケート調査のお願い

盛夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

前橋市では、人口減少や少子高齢化が進展する中において、既存の鉄道、路線バス、タクシー等の利便性や効率の向上を図るとともに、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築するための計画作りを進めています。

このたび、前橋市民のみなさまを対象に、前橋市の公共交通に関する市の取組へのご意見を把握し、計画づくりの検討に役立てるため、アンケート調査へのご協力をお願いしております。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、同封のハガキに記載された設問にご回答の上、**8月10日(木)**までに郵便ポストにご投函ください(切手は不要です)。回答内容は本人が特定されないように処理いたしますので、何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

なお、この冊子には、「前橋市の公共交通の今後の方向性」と「公共交通に関する取組案」について記載しておりますので、どうぞご覧ください。

平成29年7月●●日

前橋市長

山本 龍

■同封資料

① 公共交通に関するアンケート調査のお願い

本資料のことです。
次ページ以降の「公共交通に関する取組案」「前橋市の公共交通の今後の方向性」についてもご覧ください。

② 回答用はがき

はがきに記載されている設問に回答の上、切手を貼らずにポストにご投函ください。

【お問い合わせ先】

前橋市 政策部 交通政策課 担当：岩淵

TEL：027-898-6238 FAX：027-221-2809

公共交通に関する取組案

～問3をご回答の際にご参照ください～

前橋市の公共交通に関する取組について、市民の皆様のご意見をお聞かせください。
※ご意見は、ハガキにてご回答ください。

取組① 軸となるバス路線の明確化

駅や市内の主要な施設を結ぶ「軸」となるバス路線を設定し、高頻度にバスが運行するようにします。「軸」から延びる「枝」となるバス路線は、利用者に応じて運行本数や車両の大きさの見直しを行い、効率のいい運行を目指します。

取組② 公共交通の利用が不便な地域の解消

駅やバス停が遠く、公共交通の利用が不便な地域において、住民主体のデマンドバス※の導入の支援などを実施します。乗り換え地点を整備することによって、路線バスとの連携を強化していきます。
※予約型のバス運行サービス

取組③ 駅や主要バス停の乗り換えを円滑に

駅や利用者の多いバス停で交通機関を乗り換える際に、円滑に乗り換えができるようにします。路線バスのダイヤを見直し、鉄道とバスの連携を強化します。乗り換えが容易になるように、乗換情報を提供したり、自転車駐輪場の整備を実施します。

取組④ バリアフリー化

高齢者や障害者、子どもなど誰もが乗り降りのしやすいバスの導入を推進します。駅やバス停のバリアフリー化を進めます。

取組⑤ バス待ち環境を快適に

同じ名前にも関わらず、離れて立地するバス停同士を一箇所に集めて分かりやすくします。バス停に屋根やベンチなどを取り付けて、バス待ち環境を改善します。公共施設や商業施設でバスの運行情報を提供するなど、より充実した情報提供を行います。

取組⑥ 情報案内を分かりやすく

バス停でバスの行先、経由地が一目で分かるようにします。バスの現在位置の情報提供をバス利用者に行っていきます。

取組⑦ サイクルトレイン※の推進

上毛電鉄が実施しているサイクルトレインを周知、推進します。

※電車内に自転車を載せられるサービス

問3. これらの公共交通に関する取組について、前橋市で実施することの優先度について、あなたがどのように考えるか教えてください。各取組について、優先度を5段階の中から1つお選びください。回答は、はがき裏面の「問3」の該当する番号に○をおつけください。

回答例 ※ハガキ裏面

取組番号は、この用紙の取組番号と一緒に。
取組①は「①軸となるバス路線の明確化」となります。



1のほうが優先度が高くなり、5のほうが後回しでよいとなります。率先して取り組むべきだと思う場合は、1に○をお付けください。

取組⑧ 交通系ICカードの導入

市内の路線バスおよびコミュニティバス等の運賃の支払い時に利用できる、交通系ICカードの導入を進めます。

取組⑨ 都心のバス路線の利便性向上

市の中心部の主要施設を結ぶバス路線を設定し、中心市街地の回遊性向上と活性化を図ります。まちなかでは、運賃を一定にし、バスを気軽に利用できるようにします

取組⑩ コミュニティサイクル※の導入

コミュニティサイクルを市の中心部で利用できるようにすることで、電車やバスでまちなかに出向いても無理なく移動できるようにします。

※借りた後、元の場所ではなく、行った先で返却できる自転車の貸出サービス

取組⑪ 歩行・自転車利用環境の改善

市の中心部において、自転車通行空間の整備、快適な自転車通行環境を構築し、歩行者の安全性向上を図ります。本町二丁目五差路交差点の改良により、円滑な移動を可能とし、周辺地域の一体性の向上を図ります。

取組⑫ パーク&ライドの推進

市の中心部での渋滞を減らすために、郊外の駅やバス停で車から電車やバスに乗り継げるようにパーク&ライド施策を実施します。

取組⑬ 自動車による来訪、通過交通の抑制

市内中心部の商業エリアにおいて、快適な歩行環境・にぎわい空間創出を図るため、自動車による来訪や通過交通の抑制を行います。